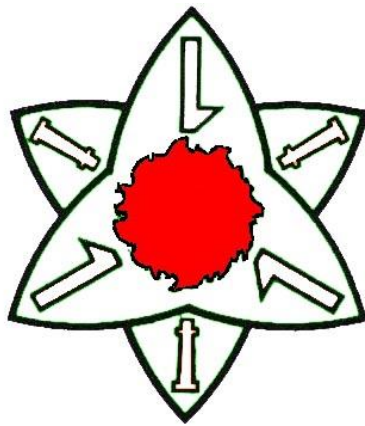


令和元年

救急・救助統計



安全と安心のまちづくり

火事と救急・救助は119番

消防テレホンサービス 22-9944
(火災・災害情報)

酒田地区広域行政組合

目 次

1	はじめに	1
2	救急の概要	1
3	高度処置救急隊の救命処置状況	1
4	応急手当普及啓発活動の状況	1
5	消防隊等の救急活動支援の状況	2
6	12誘導心電図伝送システムの運用状況	2
7	ドクターヘリ運航状況	2
8	救助の概要	2

救急資料

1	月ごとの出動件数及び搬送人員	3
2	市町別の救急出動件数及び搬送人員	4
3	年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員	5
4	重症度別の搬送人員	6
5	救急出動件数及び搬送人員の推移	6
6	事故種別ごとの出動件数の推移	7
7	主な事故種別の推移	7
8	曜日別の出動件数	8
9	覚知時刻別の出動件数	8
10	現場到着所要時間別の出動件数	9
11	収容所要時間別の搬送人員	9
12	医療機関別の搬送人員	10
13	救急隊員が行った応急処置	11
14	消防職員の救急隊員資格の取得状況	12
15	特定行為の実施状況	12
16	応急手当普及啓発活動の実施状況	13
17	消防隊等による救急活動支援の状況	14

救助資料

18	事故種別救助活動の状況	15
19	月別の救助出動の状況	16
20	市町別の救助出動の状況	17
21	曜日別救助出動の状況	17
22	交通事故における要救助者の重症度の状況	18
23	組合管内へのヘリコプター出動状況	18
24	消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）	19

1 はじめに

この統計は、令和元年中（平成31年1月1日から4月30日まで含む。）の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を把握し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに、住民の皆様からご理解とご協力をいただくために作成しました。

2 救急の概要

令和元年中の救急出動件数は5,868件で、前年に比べ106件の減少となりました。1日の平均出動は16.1件となりました。搬送人員は5,431人で、前年に比べると165人減少しました。

事故種別ごとに救急出動件数をみると、最も多かったものは「急病」で4,036件、割合にして救急出動件数全体の68.7%となりました。2番目が「一般負傷」で862件、3番目が「その他（転院搬送）」で400件となりました。

年齢区分別ごとに搬送人員をみると、最も多かったものは「高齢者（満65歳以上）」で4,009人、割合にして搬送人員全体の73.8%となりました。2番目が「成人（満18歳以上満65歳未満）」で1,220人、3番目が「乳幼児（生後28日以上満18歳未満）」101人となりました。

搬送人員を重症度別（初診時における医師の診断に基づく分類）でみると、最も多かったものは「軽症（入院加療を必要としないもの）」で2,535人、割合にして、搬送人員全体の46.6%となりました。2番目が「中等症（入院加療を必要とするもので重症に至らないもの）」で2,169人、3番目が「重症（3週間以上の入院加療を必要とするもの）」で554人となりました。

3 高度処置救急隊の救命処置状況

心肺機能停止状態となった方は225人で、前年より22人増加しました。心肺停止状態となった方へ救急救命士が行う高度な救命処置（器具を用いた気道確保・静脈路確保及び薬剤投与）を実施した件数は322件で、前年より6件増加しました。

また、平成27年1月から実施された心肺機能停止前の静脈路確保人員は125人で前年より25人増加し、低血糖発作症例へのブドウ糖投与人員が25人で前年より10人増加しました。

4 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当講習会の開催回数と受講者数は、救命入門コース（90分）91回2,162人、普通救命講習Ⅰ（3時間）49回1,049人、普通救命講習Ⅱ（4時間）2回30人、普通救命講習Ⅲ（3時間）6回105人、上級救命講習（8時間）2回34人、普及員講習（8時間）1回9人、普及員再講習（3時間）3回47人、指導員講習1回1人、指導員再講習（3時間）1回3人の合計3,440人が受講し、前年に比べ518人増加しました。

救命入門コース、普通救命講習Ⅰといった短時間の講習会の受講者数が増加した結果、全体の受講者数が増加しました。

今後も救命率、社会復帰率の向上を目指し、多くの皆様から応急手当を身につけていただくため関係機関との連携を図り、応急手当講習会の開催を積極的に推進していきます。

また、小学生、中学生、高校生及び大学生に対しても生涯学習の一環として、応急手当講習会受講を呼掛け、「救命の連鎖」「予防救急の重要性」「命の大切さ」を訴え、進んで応急手当ができるよう普及啓発に努めていきます。

5 消防隊等の救急活動支援の状況

PA連携とは、ポンプ車 (Pumper) 及び救急車 (Ambulance) が同時に出動することで、双方の頭文字から「PA」といい、消防隊と救急隊が連携して傷病者の救出・救護処置を迅速かつ確実に実施することを目的としています。

なお、令和元年中のPA連携出動件数は487件で、前年に比べ41件増加しました。

6 12誘導心電図伝送システムの運用状況

当組合では、平成31年2月1日、12誘導心電図伝送システムの運用を開始しました。このシステムは、救急現場で測定した心電図をインターネット回線を利用して医療機関に送信することができます。これにより、救急隊が医療機関に到着する前に医療機関の医師が心電図を確認することが可能になります。

医療機関と救急隊との心電図情報の共有が、いままでよりも容易になり、特に心筋梗塞（急性冠症候群）傷病者の治療開始までの時間短縮が期待されています。

なお、令和元年中の心電図データ伝送件数は296件でした。

7 ドクターヘリ運行状況

令和元年中、当組合管内の救急現場までドクターヘリが出動した件数は10件でした。そのうち、ドクターヘリによって搬送された方は5人でした。

現場まで出動したドクターヘリの内訳は、山形県ドクターヘリ9件、他県のドクターヘリ1件でした。

8 救助の概要

令和元年中における救助出動件数は76件で前年より12件増加、また、救助した人員についても58人で前年より19人増加しました。

事故種別の内訳として、最も多かったものは「交通事故」の34件で、次いで「建物等による事故」が12件、「水難事故」の10件などが上位を占めています。

当組合管内に山岳救助及び、捜索の目的でヘリコプターが出動した件数は9件で、その内訳は山形県消防防災航空隊が7件、他県の消防防災航空隊が2件でした。

1 月ごとの出動件数及び搬送人員

(件、人)

月別	年別	救急事故の種類														合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他	
1	平成31年	6 (1)			20 (19)	2 (2)		78 (73)	2 (2)	4 (3)	395 (373)	31 (31)			4	542 (504)
	平成30年	1			25 (23)	6 (6)	2 (2)	83 (79)	4 (2)	5 (2)	381 (357)	34 (34)	1		6 (1)	548 (506)
2	平成31年	3		1	21 (19)	5 (5)	1	57 (52)	1 (1)	4 (4)	304 (291)	33 (33)			2	432 (405)
	平成30年	1		1	19 (18)	4 (4)	1 (1)	82 (74)		2 (1)	382 (360)	34 (34)			8	534 (492)
3	平成31年	1		1	21 (19)	3 (3)	2 (2)	71 (68)	1 (1)	7 (3)	342 (310)	22 (22)			1	472 (428)
	平成30年	6 (1)			16 (14)	3 (3)	2 (2)	67 (64)	1 (1)	3 (3)	356 (336)	35 (35)	1		4	494 (459)
4	平成31年	5		2	32 (30)	1 (1)	4 (4)	80 (76)		7 (3)	307 (283)	39 (39)			7	484 (436)
	平成30年	2			27 (29)		3 (3)	79 (76)	1	2 (2)	323 (301)	32 (32)			8 (1)	477 (444)
5	令和元年	11 (1)		1 (1)	43 (45)	3 (3)	3 (3)	67 (62)		5 (2)	341 (323)	35 (35)			2	511 (475)
	平成30年	3 (2)			29 (30)	3 (3)	1 (1)	71 (70)		2 (2)	324 (309)	35 (35)	1		5 (1)	474 (453)
6	令和元年	5	4 (4)		20 (19)	6 (6)	8 (8)	73 (68)		6 (5)	289 (266)	33 (33)	2		5	451 (409)
	平成30年	3 (4)			36 (34)	2 (2)	4 (4)	87 (83)	1 (1)	2 (1)	299 (287)	30 (30)			2	466 (446)
7	令和元年	2		1	19 (19)	4 (4)	5 (5)	65 (60)	1 (1)	3 (2)	333 (319)	31 (31)			5	469 (441)
	平成30年	4			33 (32)	7 (8)	6 (6)	56 (54)	2 (2)	8 (7)	345 (330)	44 (43)	1		6	512 (482)
8	令和元年	4		3 (3)	16 (14)	3 (3)	6 (6)	68 (61)		12 (9)	419 (392)	37 (37)			5	573 (525)
	平成30年	3		1	27 (29)	5 (5)	5 (5)	89 (83)	4 (5)	4 (3)	390 (373)	29 (29)			5	562 (532)
9	令和元年	5		1 (1)	28 (24)	3 (3)	4 (4)	70 (69)		5 (3)	317 (302)	33 (33)			3	469 (439)
	平成30年	5 (1)	1 (1)	2	24 (25)	8 (8)	1 (1)	78 (71)		4 (2)	343 (322)	32 (32)			4	502 (463)
10	令和元年	5			29 (30)	8 (8)	5 (5)	75 (72)	1 (1)	6 (4)	324 (307)	25 (25)	1		5 (1)	484 (453)
	平成30年	2			42 (45)	2 (2)	2 (2)	75 (73)	1 (2)	1 (1)	302 (283)	19 (19)			1	447 (427)
11	令和元年	2			31 (32)	4 (4)	5 (5)	71 (68)		3 (1)	344 (324)	31 (30)			3	494 (464)
	平成30年	1 (1)			25 (23)	4 (4)		54 (50)		3 (3)	292 (272)	38 (38)	1		6 (2)	424 (393)
12	令和元年	2			20 (20)	1 (1)		87 (79)		1	321 (301)	50 (50)	1		4 (1)	487 (452)
	平成30年	1		1 (1)	28 (23)	5 (5)	2 (2)	83 (79)		4 (4)	368 (347)	36 (37)	1		5 (1)	534 (499)
令和元年計		51 (2)	4 (4)	10 (5)	300 (290)	43 (43)	43 (42)	862 (808)	6 (6)	63 (39)	4,036 (3,791)	400 (399)	4		46 (2)	5,868 (5,431)
平成30年計		32 (9)	1 (1)	5 (1)	331 (325)	49 (50)	29 (29)	904 (856)	14 (13)	40 (31)	4,105 (3,877)	398 (398)	6		60 (6)	5,974 (5,596)
増減		19 (△7)	3 (3)	5 (4)	△ 31 (△35)	△ 6 (△7)	14 (13)	△ 42 (△48)	△ 8 (△7)	23 (8)	△ 69 (△86)	2 (1)	△ 2		△ 14 (△4)	△ 106 (△165)

※()は搬送人員です。

2 市町別の救急出動件数及び搬送人員

(件、人)

市町別	年別	救急事故の種類													合計	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送		その他
酒田 市	令和元年	34 (1)	3 (3)	10 (5)	216 (208)	32 (32)	35 (35)	669 (626)	5 (5)	46 (30)	2,936 (2,751)	342 (341)	1		33 (2)	4,362 (4,039)
	平成30年	25 (7)		4	254 (251)	33 (34)	21 (21)	685 (640)	13 (11)	34 (25)	3,015 (2,829)	337 (337)	2		53 (6)	4,476 (4,161)
庄内 町	令和元年	11 (1)			43 (42)	8 (8)	6 (5)	111 (104)	1 (1)	7 (5)	662 (637)	52 (52)	1		7	909 (855)
	平成30年	4 (1)	1 (1)		38 (35)	12 (12)	6 (6)	118 (116)		3 (3)	638 (616)	47 (47)	2		3	872 (837)
遊佐 町	令和元年	6	1 (1)		41 (40)	3 (3)	2 (2)	82 (78)		10 (4)	437 (403)	6 (6)	2		6	596 (537)
	平成30年	3 (1)		1 (1)	39 (39)	4 (4)	2 (2)	100 (99)	1 (2)	3 (3)	451 (431)	14 (14)	2		4	624 (596)
管 外	令和元年										1					1
	平成30年							1 (1)			1 (1)					2 (2)
令和元年計		51 (2)	4 (4)	10 (5)	300 (290)	43 (43)	43 (42)	862 (808)	6 (6)	63 (39)	4,036 (3,791)	400 (399)	4		46 (2)	5,868 (5,431)
平成30年計		32 (9)	1 (1)	5 (1)	331 (325)	49 (50)	29 (29)	904 (856)	14 (13)	40 (31)	4,105 (3,877)	398 (398)	6		60 (6)	5,974 (5,596)
増減		19 (△7)	3 (3)	5 (4)	△31 (△35)	△6 (△7)	14 (13)	△42 (△48)	△8 (△7)	23 (8)	△69 (△86)	2 (1)	△2		△14 (△4)	△106 (△165)

※ ()は搬送人員です。

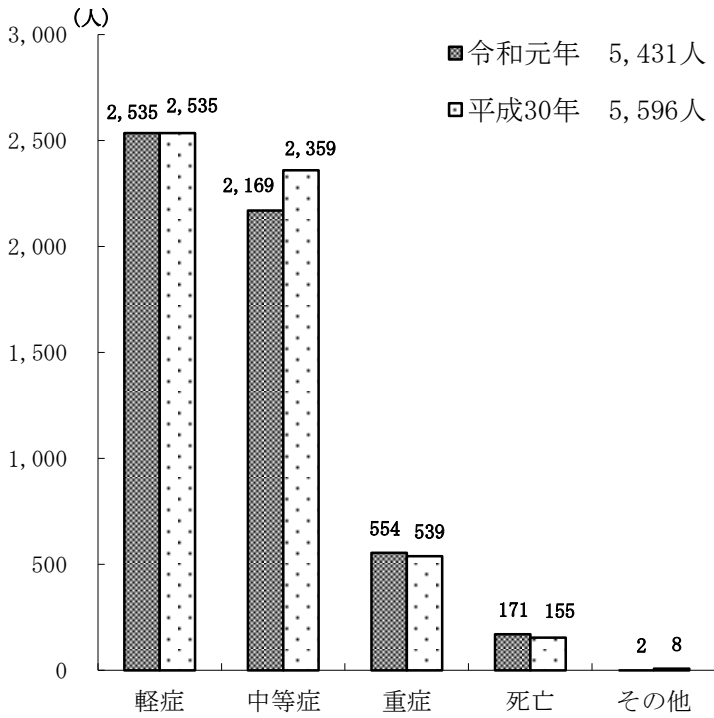
3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員

(人)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 生後28日未満										1	4	5
乳 幼 児 生後28日以上満7歳未満				9			23			68	1	101
少 年 満7歳以上満18歳未満		1		10		29	12	1	1	41	1	96
成 人 満18歳以上満65歳未満	1		3	159	29	12	116	3	20	762	115	1,220
高 齢 者 満65歳以上	1	3	2	112	14	1	657	2	18	2,919	280	4,009
令和元年計	2	4	5	290	43	42	808	6	39	3,791	401	5,431
平成30年計	9	1	1	325	50	29	856	13	31	3,877	404	5,596
増 減	△7	3	4	△35	△7	13	△48	△7	8	△86	△3	△165

※ 事故種別の「その他」とは、「転院搬送」、「医師搬送」、「資器材輸送」及び「その他(分類不能のもの)」です。

4 重症度別の搬送人員

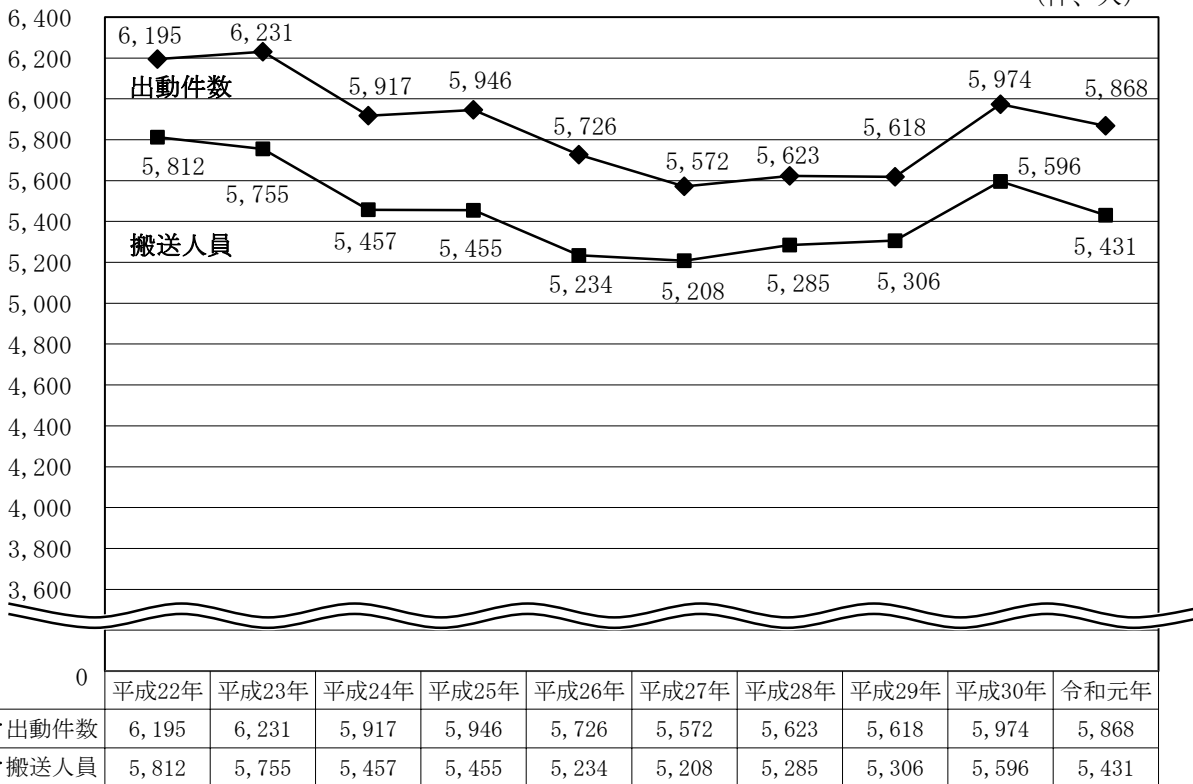


傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき次により分類する

軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	入院加療を必要とするもので重症に至らないもの
重症	3週間以上入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したものの

5 救急出動件数及び搬送人員の推移

(件、人)

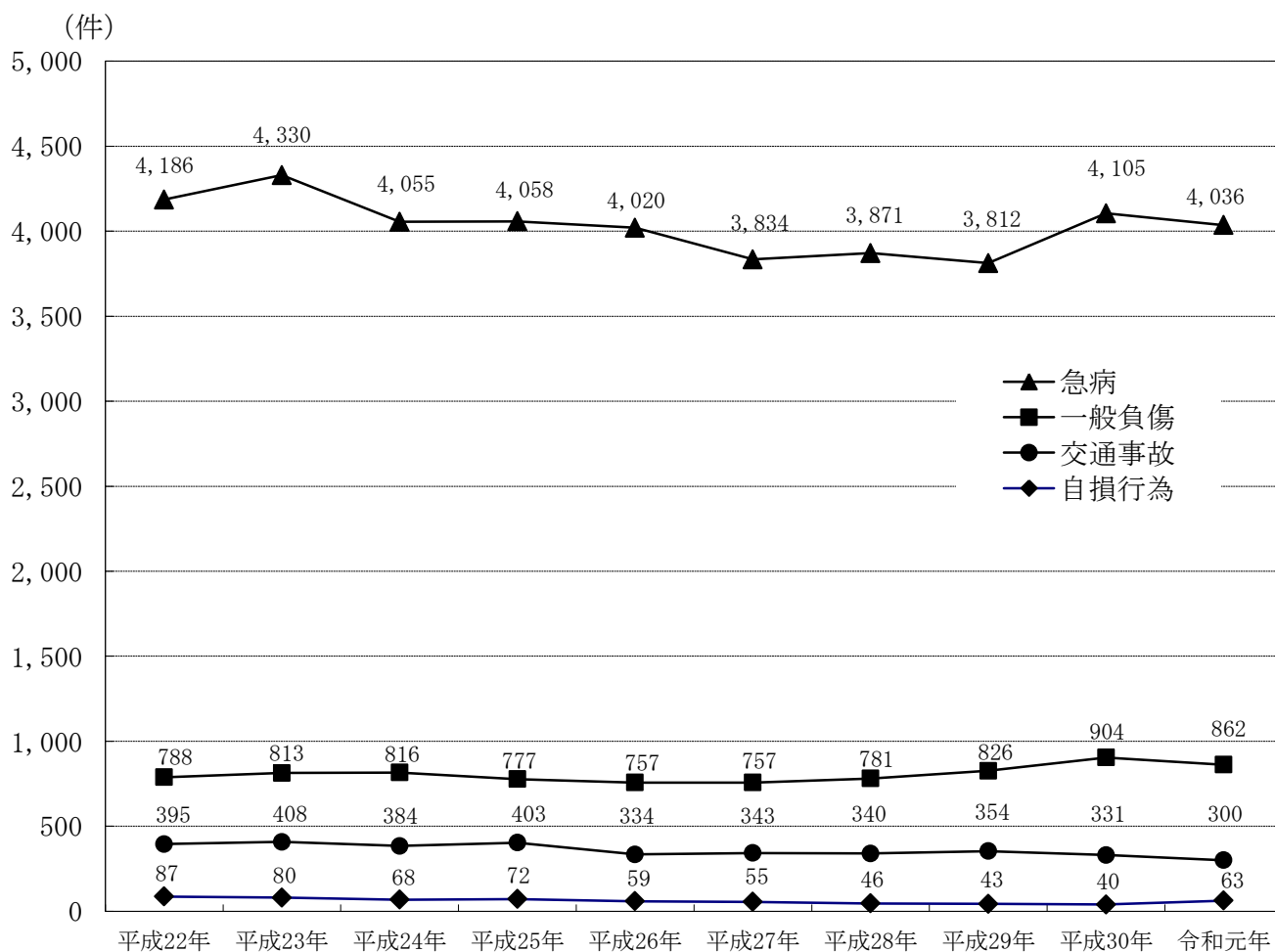


6 事故種別ごとの出動件数の推移

(件)

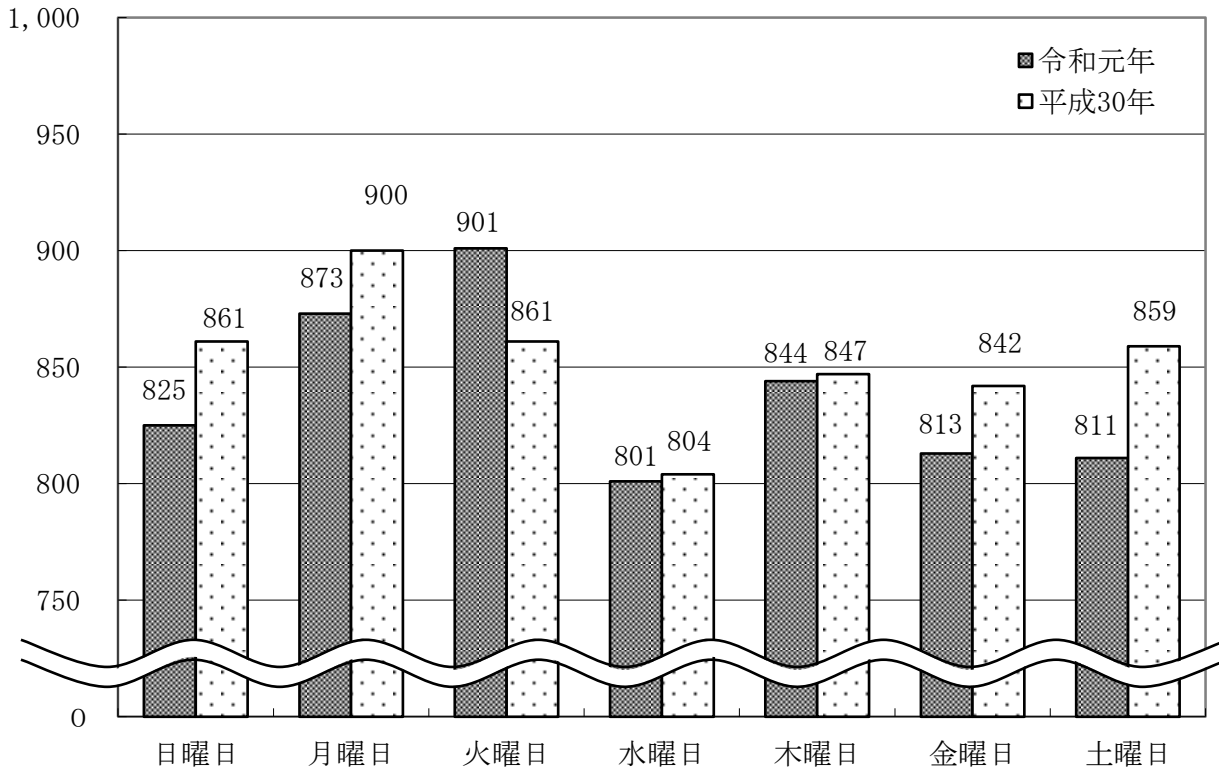
事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他					計
											転院搬送	医師搬送	資器材	輸送	その他	
平成22年	37		6	395	33	47	788	15	87	4,186	576			25	6,195	
平成23年	26	1	7	408	37	52	813	16	80	4,330	394	2	1	64	6,231	
平成24年	32	3	3	384	57	29	816	4	68	4,055	394	2		70	5,917	
平成25年	25		7	403	41	41	777	17	72	4,058	415	4		86	5,946	
平成26年	42		6	334	32	39	757	13	59	4,020	346	7		71	5,726	
平成27年	28		4	343	52	45	757	14	55	3,834	375	4		61	5,572	
平成28年	27		7	340	45	44	781	9	46	3,871	393	2		58	5,623	
平成29年	33		10	354	43	35	826	7	43	3,812	411			44	5,618	
平成30年	32	1	5	331	49	29	904	14	40	4,105	398	6		60	5,974	
令和元年	51	4	10	300	43	43	862	6	63	4,036	400	4		46	5,868	

7 主な事故種別の推移



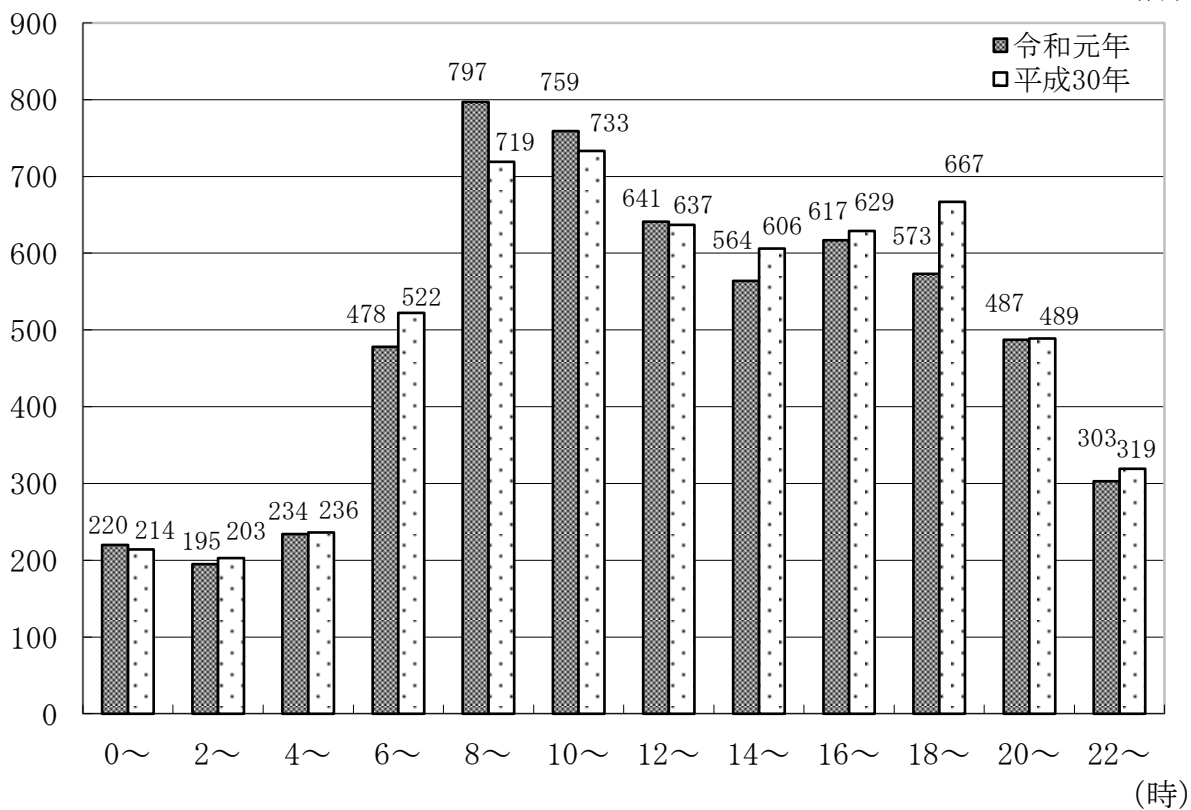
8 曜日別の出動件数

(件)



9 覚知時刻別の出動件数

(件)



10 現場到着所要時間別の出動件数

(件)

事故 種別・年別		時間別					計	平均時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	令和元年	26	267	2,718	979	46	4,036	令和元年 8分46秒
	平成30年	23	320	2,828	901	33	4,105	
交通事故	令和元年	1	15	148	122	14	300	
	平成30年	7	15	182	110	17	331	
一般負傷	令和元年	4	56	549	241	12	862	
	平成30年	7	64	609	206	18	904	
上記以外	令和元年	25	91	405	112	37	670	平成30年 8分30秒
	平成30年	14	100	386	110	24	634	
計	令和元年	56	429	3,820	1,454	109	5,868	
	平成30年	51	499	4,005	1,327	92	5,974	
比率	令和元年	0.9%	7.3%	65.1%	24.8%	1.9%	100%	
	平成30年	0.9%	8.4%	67.0%	22.2%	1.5%	100%	

※ 救急出動で途中引揚げた場合は、引揚げ時刻を現場到着時刻としています。

11 収容所要時間別の搬送人員

(人)

事故 種別・年別		時間別					計	
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満		120分以上
急病	令和元年		62	1,195	2,346	188	3,791	
	平成30年		69	1,336	2,362	109	3,877	
交通事故	令和元年		3	56	194	36	290	
	平成30年		3	87	210	24	325	
一般負傷	令和元年	1	13	236	503	55	808	
	平成30年		15	263	533	45	856	
上記以外	令和元年		6	263	243	18	542	
	平成30年		15	249	249	16	538	
計	令和元年	1	84	1,750	3,286	297	5,431	
	平成30年		102	1,935	3,354	194	5,596	
比率	令和元年	0.0%	1.6%	32.2%	60.5%	5.5%	0.2%	100%
	平成30年		1.8%	34.6%	59.9%	3.5%	0.2%	100%

12 医療機関別の搬送人員

(人)

搬送先 月別・年別		管内					管外			医療機関 以外	計
		告示医療機関				非告示の 医療機関	鶴岡市	山形市	山形市 鶴岡市 以外		
		日本海 総合病院	庄内 余目病院	市立 八幡病院	本間 病院						
1月	平成31年	355	100		35	9	5				504
	平成30年	318	112	4	53	11	5	3			506
2月	平成31年	266	79		37	11	12				405
	平成30年	323	95	2	49	18	3	2			492
3月	平成31年	283	81		51	7	3	3			428
	平成30年	318	96	2	32	8	2		1		459
4月	平成31年	267	83		65	13	6	1	1		436
	平成30年	301	92		41	8	1		1		444
5月	令和元年	289	103		67	7	9				475
	平成30年	283	92		59	13	5	1			453
6月	令和元年	258	89		50	9	1	1	1		409
	平成30年	278	95		58	9	6				446
7月	令和元年	251	110		57	15	5	3			441
	平成30年	311	95		50	17	8	1			482
8月	令和元年	296	120		89	13	3	3	1		525
	平成30年	330	113		71	11	7				532
9月	令和元年	261	96		66	12	3		1		439
	平成30年	303	94		52	12	1	1			463
10月	令和元年	286	93		57	12	4		1		453
	平成30年	268	95		47	15	2				427
11月	令和元年	280	114		51	12	5	2			464
	平成30年	264	72		41	11	4	1			393
12月	令和元年	257	113		72	7	2	1			452
	平成30年	346	89		46	10	7		1		499
計	令和元年	3,349	1,181		697	127	58	14	5		5,431
	平成30年	3,643	1,140	8	599	143	51	9	3		5,596
比率	令和元年	61.7%	21.7%		12.8%	2.3%	1.1%	0.3%	0.1%		100%
	平成30年	65.1%	20.4%	0.1%	10.7%	2.5%	0.9%	0.2%	0.1%		100%

13 救急隊員が行った応急処置

(人、回)

年別 種別 人員 処置項目	令和元年					平成30年					増減
	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
	3,791	290	808	542	5,431	3,877	325	856	538	5,596	△ 165
止血	15	11	71	11	108	15	16	79	18	128	△ 20
固定	14	101	93	29	237	20	140	113	30	303	△ 66
心肺蘇生	162	3	26	20	211	154	4	22	15	195	16
うち自動											
人工呼吸のみ	13		1		14	17	1		2	20	△ 6
胸骨圧迫											
うち自動											
酸素吸入	1,052	26	76	140	1,294	1,082	31	72	136	1,321	△ 27
気道確保	297	3	34	31	365	295	6	33	25	359	6
うち※1	10		1	1	12	6		1		7	5
うち※2	7		4		11	3				3	8
うち※3	110	2	17	14	143	112	2	17	11	142	1
うち※4	2				2	2	1	1	1	5	△ 3
保温	638	31	115	79	863	672	48	106	85	911	△ 48
被覆	13	26	95	16	150	15	38	129	21	203	△ 53
在宅療法継続	30		1	1	32	49		7		56	△ 24
うち※A				1	1	1				1	
うち※B	4				4	5		2		7	△ 3
うち※C	26		1		27	43		5		48	△ 21
ショックパンツ											
除細動	13		1	1	15	17	1	2	1	21	△ 6
静脈路確保	205	7	24	14	250	173	8	18	15	214	36
心肺停止前	112	5	7	1	125	88	5	3	4	100	25
心肺停止後	93	2	17	13	125	85	3	15	11	114	11
薬剤投与	41	1	7	3	52	42	3	6	4	55	△ 3
血糖測定	531	6	21	29	587	359		9	17	385	202
ブドウ糖投与	25				25	15				15	10
エピペン投与											
血圧測定	3,600	278	771	494	5,143	3,694	306	812	503	5,315	△ 172
心音呼吸音聴取	981	71	78	83	1,213	1,023	70	91	93	1,277	△ 64
血中酸素飽和度測定	3,610	282	764	513	5,169	3,713	312	817	511	5,353	△ 184
心電図測定	2,410	66	145	199	2,820	2,447	63	147	234	2,891	△ 71
12誘導心電図伝送	262		4	30	296						296
その他	1,319	94	278	142	1,833	1,452	99	300	173	2,024	△ 191
計	15,231	1,006	2,605	1,835	20,677	15,254	1,146	2,763	1,883	21,046	△ 369

※ 気道確保：※1 経鼻エアウェイ ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 LT等処置 ※4 気管挿管処置
 ※ 在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C A・B以外の者
 ※ 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、対象人員と処置項目の計の数とは一致しない場合があります。
 ※ 12誘導心電図伝送は、平成31年2月1日から運用開始。

14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

資格別 年別	合計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
平成27年	198	44	103	49	2
平成28年	200	49	113	37	1
平成29年	207	48	129	29	1
平成30年	212	50	134	27	1
令和元年	206	49	133	23	1

※ 令和元年12月31日現在での人数です。

15 特定行為の実施状況

(件、人)

区分 年別	心肺蘇生法 実施人員	除細動 実施人員	薬剤投与 アドレナリン 実施人員 ①	気道確保実施		静脈路確保 実施人員 ③	心肺停止後 特定行為 処置件数 ①+②+③	心肺停止前 静脈路確保 実施人員 ④	心肺停止前 ブドウ糖投与 実施人員 ⑤	特定行為 延べ件数 ①+②+③ +④+⑤
				②	うち 気管挿管					
平成27年	189	19	45	134	4	103	282	60	14	356
平成28年	211	18	41	156	7	102	299	92	30	421
平成29年	211	15	38	145	4	106	289	104	27	420
平成30年	203	21	55	147	5	114	316	100	15	431
令和元年	225	15	52	145	2	125	322	125	25	472

※ 心肺蘇生法実施人員とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

※ 除細動は医師の具体的指示を必要としない処置のため、平成15年4月から特定行為を外れています。

※ 心肺停止前の特定行為は平成27年1月から認められた行為です。

16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(回、人)

区分 月別	救命入門コース		普通救命講習 I		普通救命講習 II		普通救命講習 III		上級救命講習		普及員講習		普及員再講習		指導員講習		指導員再講習		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1月	回数	4	1																	5
	人数	120	13																	133
2月	回数	4	5					1					1							11
	人数	74	103					18					1							196
3月	回数	8	1	1																10
	人数	172	13	18																203
4月	回数	6	3																	9
	人数	91	61																	152
5月	回数	8	4																	12
	人数	125	78																	203
6月	回数	19	6			6														31
	人数	458	155			105														718
7月	回数	13	3	1								1						1		19
	人数	351	46	12								21						3		433
8月	回数	7	2					1			2									12
	人数	136	49					16			26									227
9月	回数	7	8								1									16
	人数	125	190								9									324
10月	回数	2	6																	8
	人数	32	84																	116
11月	回数	11	2																	13
	人数	436	27																	463
12月	回数	2	8																	10
	人数	42	230																	272
令和元年	回数	91	49	2	6	2	1	3	1	1										156
	人数	2,162	1,049	30	105	34	9	47	1	3										3,440
平成30年	回数	64	53	1	5	2	1	3	1	3										133
	人数	1,700	980	12	78	50	16	71	11	4										2,922
増減	回数	27	△ 4	1	1													△ 2		23
	人数	462	69	18	27	△ 16	△ 7	△ 24	△ 10	△ 1										518

※ 救命入門コース（90分）：住民に対する応急手当の導入講習です。
 普通救命講習 I（3時間）：住民に対する標準的な講習です。（主に成人に対する心肺蘇生法）
 普通救命講習 II（4時間）：住民に対する標準的な講習です。（AEDの一定頻度使用者が対象の心肺蘇生法）
 普通救命講習 III（3時間）：住民に対する標準的な講習です。（主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法）
 上級救命講習（8時間）：普通救命講習より高度な講習です。
 普及員講習（24時間）：主として事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対し、普通救命講習の指導に従事する者の講習です。
 指導員講習（8時間）：当広域行政組合の行う普通救命講習又は上級救命講習の指導に従事する者の講習です。

17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(2) 署別

月別	年別	種別						合計	署別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他				C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他	
1	平成31年	12	2	1	9	1	9	34	消防署	令和元年	43	19	2	104	7	69	244
	平成30年	13	1	4	14	1	17	50		平成30年	42	15	6	97	4	67	231
2	平成31年	8	4		21		8	41	東分署	令和元年	1	1		3		1	6
	平成30年	7	2	1	5		15	30		平成30年	3	1		2		3	9
3	平成31年	6	3	1	11	2	17	40	西分署	令和元年	18	3	1	19		19	60
	平成30年	10	3	1	10		12	36		平成30年	20	1	4	23		34	82
4	平成31年	8	11		11	1	8	39	南分署	令和元年	1	6		2			9
	平成30年	8	2	4	6		16	36		平成30年	1	3					4
5	令和元年	9	5	1	15	1	24	55	立川分署	令和元年							
	平成30年	4		2	10		17	33		平成30年							
6	令和元年	5	5	2	13	1	13	39	余目分署	令和元年	20	11	3	13	1	30	78
	平成30年	3	1	1	21		12	38		平成30年	18	4	3	12		17	54
7	令和元年	4	2	1	12	1	16	36	遊佐分署	令和元年	16	6	5	16	4	41	88
	平成30年	7	2		16		14	39		平成30年	15	4	4	8		34	65
8	令和元年	10	1		21	3	16	51	八幡分署	令和元年		1			1		2
	平成30年	5	1		16		11	33		平成30年							
9	令和元年	12	5		12	1	7	37	松山分署	令和元年							
	平成30年	6	2	2	13	1	15	39		平成30年		1					1
10	令和元年	8	3	4	9		13	37	平田分署	令和元年							
	平成30年	7	8		11		10	36		平成30年							
11	令和元年	8	2	1	12		19	42	令和元年計		99	47	11	157	13	160	487
	平成30年	15	3	2	7	2	5	34	平成30年計		99	29	17	142	4	155	446
12	令和元年	9	4		11	2	10	36	増減			18	△6	15	9	5	41
	平成30年	14	4		13		11	42									
令和元年計		99	47	11	157	13	160	487									
平成30年計		99	29	17	142	4	155	446									
増減			18	△6	15	9	5	41									

※ 救急活動支援（P A連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。

※ その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。

18 事故種別救助活動の状況

(件、人)

年 別		令 和 元 年			平 成 3 0 年		
		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
区 分							
事 故 種 別							
火 災	建 物	4	4	2	1	1	2
	建 物 以 外	1	1	1	1	1	1
交 通 事 故		34	23	24	37	15	16
水 難 事 故		10	9	7	5	3	3
風 水 害 等 自 然 災 害							
機 械 に よ る 事 故		4	4	4	2	1	1
建 物 等 に よ る 事 故		12	10	10	6	5	5
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	9	8	8	5	5	5
	そ の 他	2	2	2	7	6	6
合 計		76	61	58	64	37	39

19 月別の救助出動の状況

(件、人)

月別	年別	救 助 事 故 種 別										合計	
		火 災		交通 事故	水難 事故	風自 水自然 害災 等害	機よ 械る 事に 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
1	平成 31年	1 (1)		3				1					5 (1)
	平成 30年			3 (1)				1				2 (2)	6 (3)
2	平成 31年			5 (4)	1 (1)								6 (5)
	平成 30年			3 (1)	1 (1)			1 (1)					5 (3)
3	平成 31年			2 (2)	1 (1)			3 (3)					6 (6)
	平成 30年			2 (2)				1 (1)					3 (3)
4	平成 31年	1		2 (2)	2 (2)								5 (4)
	平成 30年			1								3 (2)	4 (2)
5	令和 元年	1		4 (3)	2 (2)						2 (2)		9 (7)
	平成 30年	1 (2)	1 (1)	4 (2)									6 (5)
6	令和 元年	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1		3 (3)	2 (2)					9 (8)
	平成 30年			4 (1)				1 (1)					5 (2)
7	令和 元年			3 (2)	1			1 (1)			1 (1)		6 (4)
	平成 30年			2 (1)			1 (1)	2 (2)			2 (2)		7 (6)
8	令和 元年			2 (1)	1			1 (1)			3 (3)	1 (1)	8 (6)
	平成 30年			2 (3)	1						1 (1)	2 (2)	6 (6)
9	令和 元年			3 (2)	1 (1)						3 (2)		7 (5)
	平成 30年			4 (2)	1						1 (1)		6 (3)
10	令和 元年			1				2 (2)				1 (1)	4 (3)
	平成 30年			2							1 (1)		3 (1)
11	令和 元年			6 (5)				1 (1)					7 (6)
	平成 30年			4 (1)	1 (1)		1						6 (2)
12	令和 元年			2 (2)			1 (1)	1					4 (3)
	平成 30年			6 (2)	1 (1)								7 (3)
令和元年計		4 (2)	1 (1)	34 (24)	10 (7)		4 (4)	12 (10)			9 (8)	2 (2)	76 (58)
平成30年計		1 (2)	1 (1)	37 (16)	5 (3)		2 (1)	6 (5)			5 (5)	7 (6)	64 (39)

※ ()内は救助人員です。

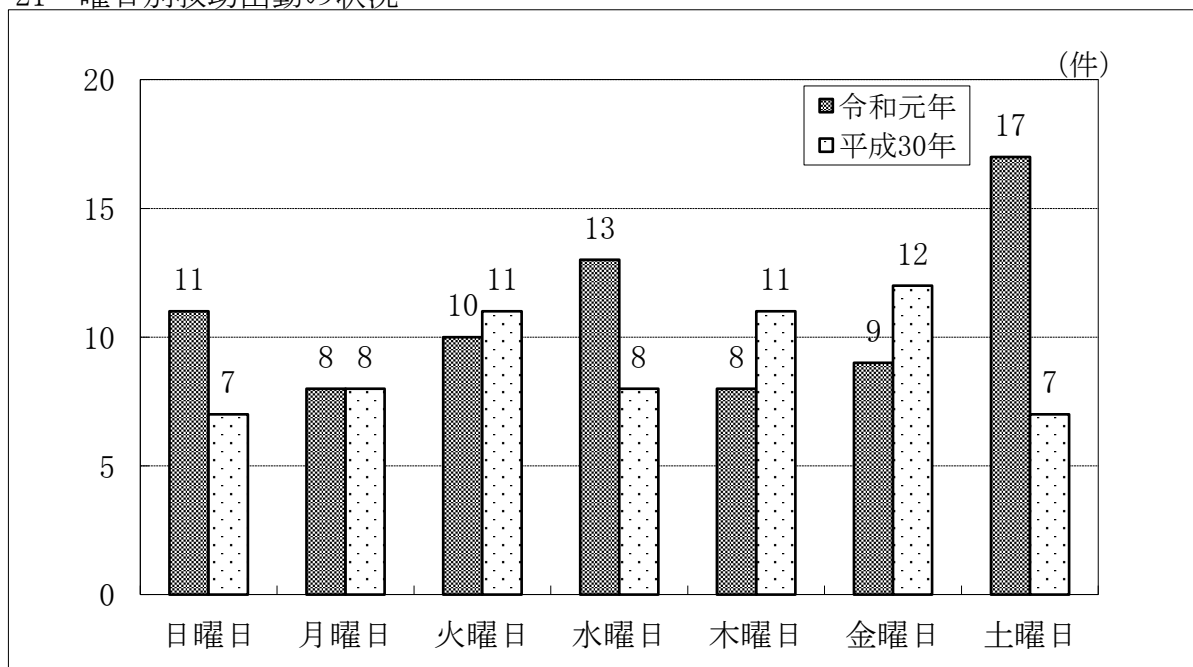
20 市町別の救助出動の状況

(件、人)

市町別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自 水自然 害災 等害	機よ る事 に故	建よ る事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
酒田市	令和元年	2 (2)	1 (1)	22 (14)	10 (7)		2 (2)	10 (8)			1 (1)		48 (35)
	平成30年	1 (2)		30 (13)	3 (1)		1 (1)	6 (5)				6 (5)	47 (27)
庄内町	令和元年	1		5 (4)			1 (1)	2 (2)					9 (7)
	平成30年		1 (1)	2 (1)									3 (2)
遊佐町	令和元年	1		7 (6)			1 (1)				8 (7)	2 (2)	19 (16)
	平成30年			5 (2)	2 (2)		1				5 (5)	1 (1)	14 (10)
管外	令和元年												
	平成30年												
令和元年計		4 (2)	1 (1)	34 (24)	10 (7)		4 (4)	12 (10)			9 (8)	2 (2)	76 (58)
平成30年計		1 (2)	1 (1)	37 (16)	5 (3)		2 (1)	6 (5)			5 (5)	7 (6)	64 (39)
増減		3		△3 (8)	5 (4)		2 (3)	6 (5)			4 (3)	△5 (△4)	12 (19)

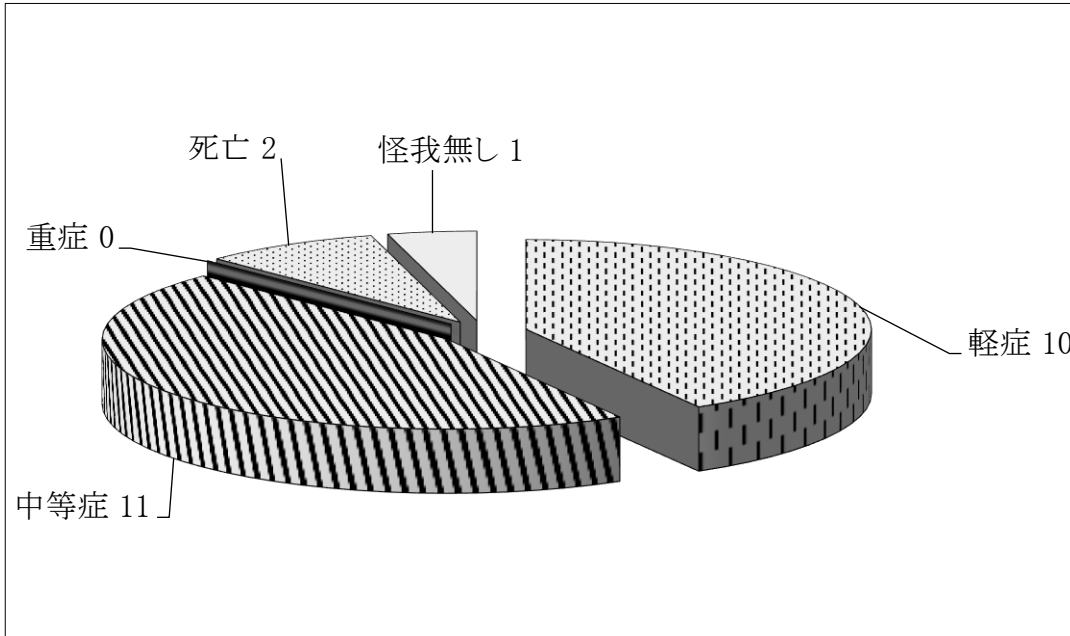
※()内は救助人員です。

21 曜日別救助出動の状況



22 交通事故における要救助者の重症度の状況

(人)



23 組合管内へのヘリコプター出動状況

(件、人)

ヘリコプター種別	年別	出 動 区 分						計	搬送人員
		救急	救助	山岳救助	山岳遭難	水難救助	その他		
山形県防災ヘリコプター	令和元年	1		7		1	1	10	7
	平成30年	1		2	3			6	3
他県の防災ヘリコプター	令和元年		1	2				3	3
	平成30年								
山形県ドクターヘリコプター	令和元年	9						9	4
	平成30年	15						15	12
他県のドクターヘリコプター	令和元年	1						1	1
	平成30年								
他機関	山形県警ヘリコプター	令和元年				1		1	
		平成30年			2	2		4	2
	海上保安庁ヘリコプター	令和元年	1						1
平成30年		1						1	1
自衛隊ヘリコプター	令和元年								
	平成30年								
令和元年計		12	1	9		2	1	25	16
平成30年計		17		4	5			26	18
増 減		△5	1	5	△5	2	1	△1	△2

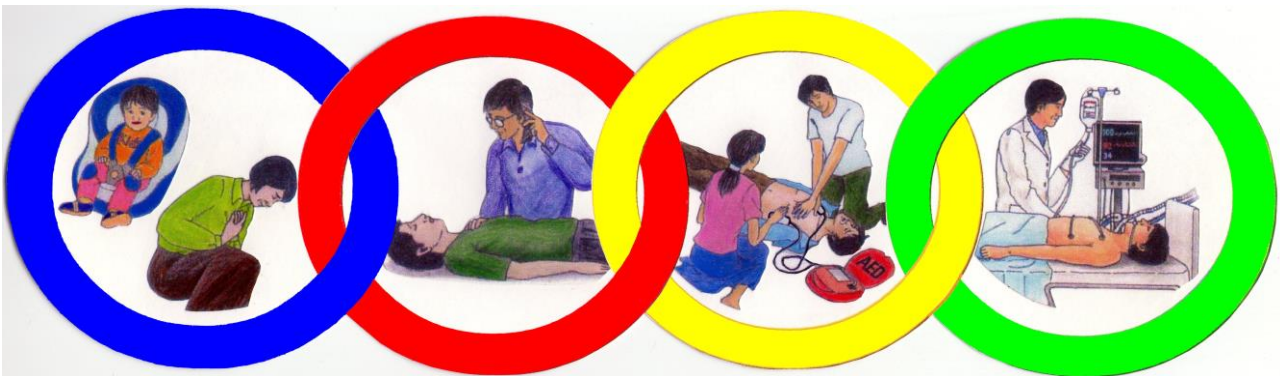
24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

山形県指導会

東北地区支部消防救助技術指導会

回数	実施年月日	出場種目	成績	回数	実施年月日	出場種目	成績
27	H27.6.30	ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞	44	H27.7.30	出場なし	
28	H28.6.30	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞	45	H28.7.29	引揚救助	入賞
29	H29.6.29	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞	46	H29.7.19	出場なし	
30	H30.6.28	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞	47	H30.7.25	ロープブリッジ救出	入賞
31	R1.7.4	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞	48	R1.7.24	引揚救助	

救命の連鎖



◎心肺停止の予防

◎早期認識と通報

◎一次救命処置

◎二次救命処置と

心拍再開後の集中治療